



熊谷市消防団「チームさくら」は、平成20年4月、人の役に立ちたいという強い意志を持った16名で活動をスタートしました。発足時は右も左もわからず、手探りの毎日でしたが、現在では全員が応急手当普及員の資格を取得し、年間60回にも及ぶ救命講習の指導にあたっています。その他にも火災予防訓練での広報、4年前には半年もの厳しい訓練を経て全国女性消防操法大会にも出場しました。



埼玉県女性消防団員大会で最優秀賞を受賞しました!

「チームさくら」女性団員も活躍! 団本部女性小隊

地道な活動が功を奏し、今年、埼玉県女性消防団員大会で「チームさくら」の新井副小隊長が最優秀賞を受賞しました。
現在大学生、主婦、会社員、子育て中のママ等14名の団員がいます。今後もっと仲間を増やして活動の場を広げていきたいと思っています。
優しさで熱いハートを持った私達と一緒に消防団活動しませんか?!

募集中

熊谷市消防団を
応援しよう!
「あついぞ! 熊谷市
消防団サポート事業」の協力店



近年減少傾向にある消防団員を地元住民が応援し、活性化につなげようという機運が高まり、「あついぞ! 熊谷市消防団サポート事業」がスタートしました。この事業は市内の飲食店・小売店等のご協力により、消防団員が来店した際にサービスを提供していただくことで、消防団員の加入促進と福利厚生の上昇を図ることを目的とした制度です。

制度の趣旨に賛同し、ご協力いただける方は、市ホームページまたは下記で配布している「熊谷市消防団応援ショップ登録届」に必要事項をご記入のうえ、下記までご提出ください。

◆消防本部警防課
☎048-501-0117

みんなで
消防団を
サポートするにゃ!



Interview

「消防団での活動は
とても充実しています」

熊谷市消防団中央分団
分団長 内ヶ嶋 修さん



私は先輩団員から誘われ消防団員になりました。最初は仕事との両立が難しく感じましたが、仲間の協力で現在まで続けることが出来ました。消火活動が無事に終わった時にはとても充実感があります。消防団活動を重ねるたびに団員同士の結びつきや地域との連帯感が強くなっていくと感じます。特に、防火広報で巡回しているときに小さなお子さんが手を振ってくれる姿を見ると嬉しくなります。

平成25年から分団長を務めていますが、的確な消火活動をするためにも団員の安全確保が大切だと考えています。これからも消防団員としての資質を高め、自主防災訓練などを通し地域のお役に立てればと思っています。



大切な郷土を守る 熊谷市消防団

郷土愛の精神のもと、地域を火災等の災害から守る役割を担っている消防団
消火活動だけでなく様々な形で安心・安全な街づくりに貢献しています。

◆消防本部警防課 ☎048-501-0117

消防団員の活動

消防団員は、職業や学業に就きながら、火災や風水害が発生したときに消防職員と連携して活動する非常勤の地方公務員です。熊谷市では、現在34分団、約500名の団員が活動しています。
消火および救助・救出活動を迅速に行うため休日や夜間を利用して訓練し、災害時に備えるほか、火災を出さないための防火広報、自治会・自主防災組織と連携した訓練や地域の情報収集、救命講習など活動は多岐にわたります。
災害に対する意識が高まる中、地域で活躍する欠かせない存在となっています。



地域に根ざした消防団 だからできること

地域を熟知した防災機関である消防団は、その特性を活かし平成25年9月に市内で発生した竜巻災害でも大きな役割を果たしました。地元の詳細な情報や住民同士のネットワークを活かし、災害発生直後から多くの消防団員が危険箇所の警戒監視や警備を行い、二次災害防止のため活動しました。さらに翌日から被害調査、瓦礫の撤去に従事し、15日間延べ972名の団員が被災者の支援と早期復旧に努めました。

あなたも消防団員に なりませんか?!

市内に在住・在勤の年齢18歳以上の健康な方で「防災・救命知識を身につけ、社会に貢献したい」と考えている方、この街をより安心・安全に暮らせる街にするために、消防団員になりませんか?!

◆消防本部警防課
☎048-501-0117



やったー! 入ったあ!

10月18日、桜木小学校校庭で第24回ふれあい運動会が開催されました。フライングディスクやパン食い競争などが行われ、障害のある方とない方が、一緒になってさわやかな汗を流していました。



みんなで揃って踊りましょう

10月24日、第26回熊谷ふれあい広場が熊谷スポーツ文化公園で開催されました。障害者の方と市民の交流を目的に、手づくり品の販売やバザー、ステージ発表などが行われ、大勢が参加した踊りで会場は大盛り上がりでした。



実業団駅伝

11月3日、「15年彩の国実業団駅伝」が行われました。沿道からフィニッシュ地点の熊谷スポーツ文化公園まであつい声援で溢れており、最終区間ではデッドヒートの末Hondaが逆転優勝を果たしました。



リサイクルフェア

10月17日、環境美化センターで恒例のリサイクルフェアが開催されました。家具・自転車・本・ジーンズなどのリサイクル品が販売され、多くの方でにぎわいました。



みんなで踊ろう、参加しよう!

10月25日、江南総合文化会館ピア駐車場で第9回こうなん祭りが開催されました。会場は、グルメや地域の伝統芸能、最後にはサンパと多くの来場者で一日中、にぎわいました。



知らざあ言って聞かせやしょう...

10月18、19日妻沼聖天山で秋季例大祭が開催されました。18日には、中条中学校の生徒が、授業で学んだ歌舞伎の「白浪五人男」を演じ、観客から盛大な拍手を浴びていました。



にこやかな行列と元気なパフォーマンス

11月1日、熊谷駅周辺でえびす大商業祭のご神体稚児行列と御神輿巡行が、国道17号周辺でオ・ドーレなおさねが開催されました。当日は天候にも恵まれ、市内外からの参加者や観覧者が秋の一日を楽しみました。



目指せ決勝、秩父宮ラグビー場!

10月28日、予選を勝ち抜き東日本ラグビーフットボール大会への出場を決めた吉岡中学校の生徒15名が、市長を表敬訪問し大会への意気込みを話しました。



熊谷市のこれからの農業を考える

11月4日、埼玉県農業大学校で熊谷市農業シンポジウムが開催されました。当日は、熊谷の農業の課題と可能性について、富岡市長や末松農林水産省農村振興局長を交え、市内就農者の方たちと熱い討論が繰り広げられました。



青空にスマイル!

10月25日、妻沼グライダー滑空場で埼玉スカイスポーツフェスタ2015が開催されました。世界で活躍する室屋義秀さんが世界最高峰のアクロバット飛行を披露し、イベントに参加された方たちの歓声が止むことがありませんでした。



熊谷冬の風物詩『Star-nation』

11月1日、星川でイルミネーションの点灯式が行われました。鎌倉広場から星川広場までの760mが幻想的な光に包まれると、大きな歓声があがりました。Star-nationは来年11月11日まで開催中です。

おたよりパレット

テーマ クリスマスの思い出

今年も残すところあと1か月。最近のクリスマスは、家族と過ごす以外に、友人と出掛ける方も多くいらっしゃいました。また、いつの時代も、子供には一大イベントです。今年も思い出に残るようなクリスマスをお過ごしください。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/> でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ10月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 子供が小さいころは大きいもみの木と家のベランダに電飾をつけるのが楽しかったです。今年はやってみるかな! (40代・男性)
- 結婚前の彼女とのディナーです。彼女と結婚したい為に、色々計画を練っていたところが、思い出されて懐かしいです。(60代・男性)
- 勤めていた時、毎年クリスマスになると、なかよし三人組でホテルでディナーをすることでした。三人が結婚するまで続きました。とても思い出に残っています。(60代・女性)
- クリスマス当日、起きたら庭一面が雪で真白だったことです。子供だったのでとても嬉しかったです。(30代・女性)
- 数年前のクリスマスに孫達からのクリスマスプレゼントで、私と妻がハンカチを貰いました。大変嬉しくて今でも宝物として大切に持っています。(70代・男性)

読んで当てよう 市報クイズ

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「私の好きなウィンタースポーツ」のコメントを必ず記入し、12月22日(火)までにご応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☐ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもってかえさせていただきます。

10月号の正解 ①2015 ②浄化槽
◆応募総数26通中、正解26通

今月のテーマ、「私の好きなウィンタースポーツ」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

- 今月の問題
- 次の に入ることばを、それぞれお答えください。
- ① 12月3日～9日は「」週間です
 - ② 大切な郷土を守る熊谷市

今月のプレゼント

「くまがや地域通貨研究会」ご提供のシルクの黄色いハンカチ1枚と市内協力店100店で使える「ありがとう券」5枚をセットで、正解者の中から抽選で10名にプレゼントします。



市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課内線212までお問合せください。

夢追人

悔しさからの始まり

「スキーの醍醐味を知ってほしい」

スキーインストラクター
中村 一之さん(弥藤吾)



映画「私をスキーに連れてって」が大ヒットしたスキーブーム全盛の頃、友達同士で初めてスキーに行きました。そのときはスキーで歩くことすらできなかった。あまりの悔しさに翌週、たった一人で同じスキー場に練習に行きました。そのとき、当時付き合っていた妻に、お弁当を作ってもらったのを憶えています。

その後は、地元のクラブに所属し、指導員の資格を持った先輩方に教えてもらいながらスキーの練習に励

みました。埼玉県スキー技術選手権大会に出場する中で、オガサカチームの合宿に参加するようになり決勝大会に進む常連になることができました。

目指すは連覇

その後、一度引退しましたが、先輩からの誘いでインストラクターとして活動するようになりました。ちょうどその頃シニアの部が開催されることになり出場しました。1回目と2回目ともに準優勝。本当に悔しかったです。

もう一度、体力づくりや滑り込みをしつかり取り組んで挑んだ3回目となる昨シーズンは、リラックスかつ集中して滑れたので、優勝を掴むことができました。技術選は自分との戦い。今シーズンは連覇を狙います。

スキーを 楽しんでほしい

インストラクターとしては、スキーの楽しさを多くの人に広めたいです。大自然、白銀の世界という普段とは異なる景色の中で、自分のスタイルで滑る楽しさを知ってほしい。他のスポー



大会で滑走する中村さん

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

所在地:熊谷2553-2 面積:25.6ha
施設:ソフトボール場9面(うち2面軟式野球兼用)、
運動広場4面、ラグビー場1面、自由広場1面、
市民いきいき広場、トイレ10箇所

◆公園緑地課(大里庁舎) ☎0493-39-4806

人口と世帯

平成27年11月1日現在(対前月比)
■人口 200,784人(+39) 男 100,155人(+2) 女 100,629人(+37) ■世帯 84,342(+95)

「市報くまがや」12月号は、72,500部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日 平成27年12月1日 ●発行 熊谷市
●編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
☎048-524-1111(内線206) ☎048-520-2870

ニャおざねゆる散歩

第9回 熊谷荒川緑地

ニャおざねが市内の公園を紹介します!

熊谷荒川緑地は、荒川左岸河川敷を活用し、中心に位置する荒川大橋から東西に整備された緑地公園です。ソフトボール専用グラウンドと軟式野球・ソフトボール兼用のグラウンド、ラグビー場、少年サッカーなどに使われる運動広場、自由広場、そして憩いの場としての市民いきいき広場などがあります。各種競技大会や夏のビッグイベントの1つ熊谷花火大会をはじめ様々な催しが行われるほか、近年はウォーキングやジョギングをする人たちの姿が多く見られます。スポーツから文化活動まで年間を通して幅広い世代の方に利用されています。

五郎丸ポーズでゴールを決めるにゃ

ジョギングが気持ちいいにゃ

◆公園緑地課(大里庁舎) ☎0493-39-4806